

技術開発実施報告

様式3

都城

課題名		広葉樹用材林育成技術体系の確立「広葉樹（ケヤキ）天然更新法」			
指・自・任 区分	指示	開発 期間	昭和60年～ 平成12年	担 当	造 林 課
目 標	天然林の皆伐跡地に発生するケヤキ・クワの稚樹を刈出し、または山引き移植して、有用広葉樹用材林へ誘導する施業方法について検討する。				
結 果	設定時に発生した稚樹（ケヤキ）は、樹高樹型とも良好に成長しており、樹高については各プロットで差があり85cm~274cmで10プロットの平均は153cmになった。なお、ぼうが株については6mに達している個体もあり林分としてはケヤキ、カシ類、シイ類、タブ等を主体とした広葉樹林分として更新は完了した。		技術開発経費内訳 <人工> 千円 物件費 役務費 人件費 基 職 < 5 > その他 < 191 > 合 計		
開発経過と調査内容					
1、試験地設定（昭和58年5月） 場所：遅霧国有林30林班ち小班 面積：4.99HA 2、試験の方法 (1)定着試験区稚樹発生調査（10プロット(1m*1m)） （昭和59年度~平成2年度） (2)植生調査（昭和59年度） (3)施業区設定（昭和60年度） ア、刈出区 5プロット（10m*10m） イ、無刈出区 5プロット（10m*10m） ウ、ぼうが整理区（昭和63年度） (4)有用広葉樹（ケヤキ）刈出し 1. 70HA（昭和62年度） 1. 54HA（昭和63年度） (5)保育（刈出し、つる切）（平成元年度~平成2年度）					

3、調査事項 (1)稚樹の消長調査 (2)成長量調査
評価及び普及指導 当試験地はケヤキの稚樹の発生量が多く残存率41%でHA当り7万本となっているが、プロットによってはケヤキが群生している箇所、他の有用広葉樹の旺盛な成長のため被圧されている箇所、ぼうが株で4~5本株立ちになっているもの等があり、今後は他の有用広葉樹との混交林として用材率を高めるためには、ケヤキの本数整理及び除伐等保育を実施する必要があると思われる。

平成4年 技術開発実施報告

様式2

都城 営林署

課題 広葉樹用材林育成技術体系の確立 [有用広葉樹 (ケヤキ) 天然更新法]						
継続 新規 指示 任意	担 当	造 林 課	開 発 箇 所	都 城 営 林 署	開 発 期 間	昭 和 5 8 年 度 平 成 4 年 度
年 度 別 実 施 経 過			平 成 4 年 度 実 施 報 告			
1、試験地設定 (1)時期、昭和58年5月 (2)場所、遅霧国有林30ち林小班 (3)面積、4.99HA (昭和58年度伐採跡地)			1、保育(つる切) 2. 40HA、臨時10人、			
2、調査事項 (1)定着試験区稚樹発生調査 (昭和59年度~平成2年度) (2)植生調査(昭和59年度)						
3、施業区設定(昭和60年度) (1)刈出区 5プロット (2)無刈出区 5プロット (3)ぼうか整理区(昭和63年度)						
4、有用樹(ケヤキ)刈出し 1. 70HA(昭和62年度) 1. 54HA(昭和63年度)						
5、保育(刈出し、つる切) (平成元年度~平成2年度)						

技術開発実施計画

様式2

都城 営林署

課題	広葉樹用材林育成技術体系の確立[有用広葉樹(ケヤ)天然更新法]					
継続・新規	担 当	造 林 課	開 発 箇 所	都 城 営 林 署	開 発 期 間	平成5年度
(指示) 自主 任意						~ 平成14年度
年度別実施経過			平成5年度実施報告			
<p>1、試験地設定</p> <p>(1) 時期、昭和58年5月</p> <p>(2) 場所、遅霧国有林30ち林小班</p> <p>(3) 面積、4.99ha (昭和58年度伐採跡地)</p> <p>2、調査事項</p> <p>(1) 定着試験区稚樹発生調査 (昭和59年度~平成2年度)</p> <p>(2) 植生調査(昭和59年度)</p> <p>3、施行区設定(昭和60年度)</p> <p>(1) 刈出区 57°㍓</p> <p>(2) 無刈出区 57°㍓</p> <p>(3) ぼう芽整理区(昭和63年度)</p> <p>4、有用樹(ケヤ)刈出し</p> <p>1. 70HA(昭和62年度)</p> <p>1. 54HA(昭和63年度)</p> <p>5、保育(刈出し、つる切)</p> <p>(平成元年度~平成2年度)</p> <p>6、保育(つる切)</p> <p>2. 40HA、臨時10人</p>			<p>1、試験地設定</p> <p>枝打試験地設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袋かけ 2本 ・木叩 2本 ・ナシ 1本 <p>2、除伐試験地設定</p> <p>天然ケヤ自生地の刈出し</p> <p>3、ぼう芽木間引試験地設定</p> <p>ぼう芽木を間引した(2本)</p>			

状 況 写 真

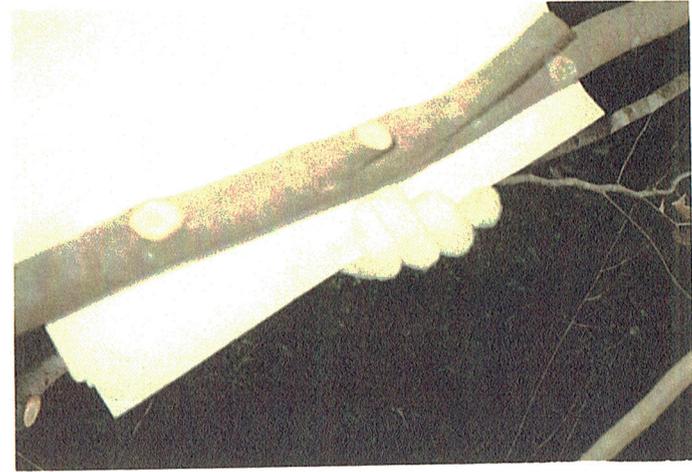
区分 指示

都城 営林署

(様式6)



殺打前



殺打後

袋叩



袋かけ後



袋かけ後

状 況 写 真

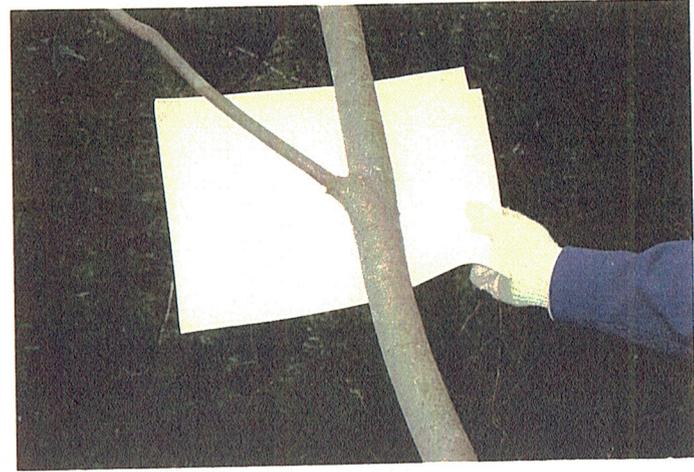
区分 指示

新 城 宮 林 署

(様 式 6)



枝 打 前



枝 打 前



枝 打 後



枝 打 後

袋 7.1

状 況 写 真

区分 指示

新 城 営 林 署

(様 式 6)



枝 打 前



枝 打 前

枝 打 後



状 況 写 真

区 分 指 示

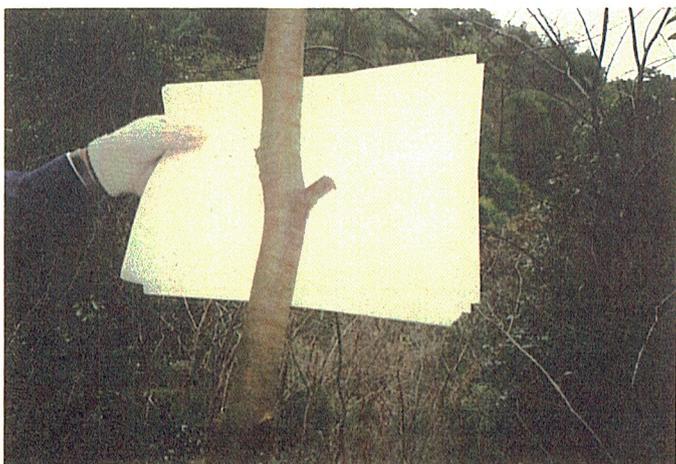
狩 域

営 林 署

(様 式 6)



枝 打 前

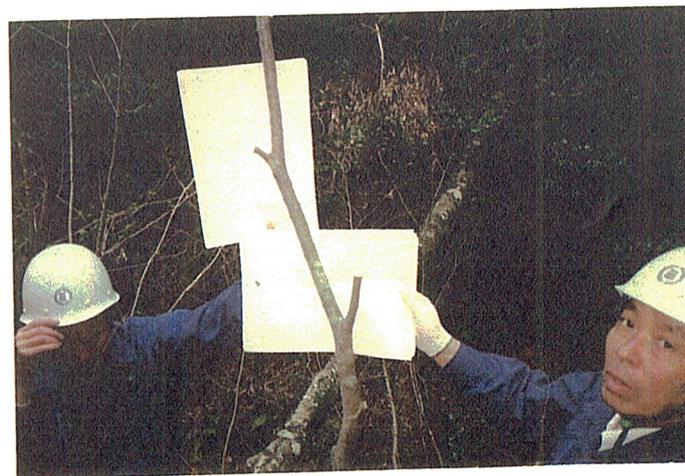


枝 打 後

木 口



枝 打 前



枝 打 後